



2020年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年2月5日

上場会社名 オイレス工業株式会社

上場取引所 東

コード番号 6282 URL <https://www.oiles.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 飯田 昌弥

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 上席執行役員 企画管理本部長 (氏名) 宮崎 聡

TEL 0466-44-4901

四半期報告書提出予定日 2020年2月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	44,908	1.1	3,888	0.7	4,185	2.3	2,873	3.6
2019年3月期第3四半期	45,413	4.0	3,916	13.6	4,088	7.7	2,774	10.0

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 2,533百万円 (42.4%) 2019年3月期第3四半期 1,778百万円 (55.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	91.78	
2019年3月期第3四半期	88.69	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第3四半期	79,890	60,736	74.7	1,905.39
2019年3月期	79,315	59,806	74.1	1,878.17

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 59,654百万円 2019年3月期 58,801百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		25.00		25.00	50.00
2020年3月期		25.00			
2020年3月期(予想)				25.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	60,000	2.2	4,500	10.5	4,800	8.5	3,180	14.9	101.57

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P.7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P.7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2020年3月期3Q	34,300,505 株	2019年3月期	34,300,505 株
------------	--------------	----------	--------------

期末自己株式数

2020年3月期3Q	2,992,510 株	2019年3月期	2,992,937 株
------------	-------------	----------	-------------

期中平均株式数(四半期累計)

2020年3月期3Q	31,307,999 株	2019年3月期3Q	31,281,722 株
------------	--------------	------------	--------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.2「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(会計方針の変更)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	8
3. 補足情報	9
(1) 受注及び販売の状況	9
(2) 地域ごとの売上高	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、非製造業に支えられ緩やかな景気回復が持続したものの、製造業では米中貿易摩擦等を中心に世界的に先行き不透明感が続いております。このような環境下、当企業グループはお客様のニーズに迅速かつ確に対応することで受注の獲得に注力しており、特に大型プロジェクトの確実な受注や、欧米、中国、インド、アセアンでの非日系顧客開拓を推進してまいりました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は44,908百万円(前年同期比1.1%減)、営業利益は3,888百万円(前年同期比0.7%減)、経常利益は4,185百万円(前年同期比2.3%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は2,873百万円(前年同期比3.6%増)となりました。

<軸受機器>

一般産業機械向け製品は主力である射出成形機や産業車両向けなどが、また自動車向け製品は欧米、中国、インドなどの売上が前年と比較して減少したため、軸受機器全体においては売上、利益ともに前年を下回りました。

この結果、軸受機器の売上高は31,794百万円(前年同期比7.6%減)、セグメント利益は2,565百万円(前年同期比26.2%減)となりました。

<構造機器>

橋梁向け製品が前年の売上を大きく上回ったほか、建物向け製品は前年並みの売上を確保することができました。

この結果、構造機器の売上高は7,935百万円(前年同期比37.6%増)、セグメント利益は1,218百万円(前年同期比173.1%増)となりました。

<建築機器>

主力製品であるウィンドウ オペレーターは新築物件、リニューアル物件ともに前年並みの売上を維持しました。また住宅向け製品においても前年並みの売上を維持しました。

この結果、建築機器の売上高は4,192百万円(前年同期比0.8%増)、セグメント利益は84百万円(前年同期はセグメント損失27百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の財政状態は以下のとおりであります。

前連結会計年度末に比べ、総資産は574百万円増加、負債は354百万円減少、純資産は929百万円増加した結果、自己資本比率は前連結会計年度より0.6ポイント増加して74.7%となりました。

資産の増減の主なものは、流動資産では現金及び預金の2,595百万円の増加、受取手形及び売掛金の1,899百万円の減少、仕掛品の389百万円の増加、原材料及び貯蔵品の210百万円の減少、固定資産では有形固定資産の223百万円の増加、投資有価証券の396百万円の増加であります。

負債の増減の主なものは、流動負債では支払手形及び買掛金の350百万円の減少、1年内返済予定の長期借入金の545百万円の増加、未払法人税等の509百万円の増加、賞与引当金の527百万円の減少であります。固定負債では長期借入金の545百万円の減少、退職給付に係る負債の101百万円の減少であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

軸受機器事業は、さらなる競争力強化に向けた合理化、省力化を推進してまいります。また、次の半世紀を支える研究開発体制を強化いたします。

構造機器事業は、当社の強みを発揮できる市場の形成に注力することで競争力の確保を図るとともに、高い品質、技術力で社会に貢献し続け、安心、安全を提供してまいります。

建築機器事業は、ウィンドウ オペレーターのメンテナンスおよびリニューアル物件の獲得と、省エネに有効な外付けブラインドの認知度を向上させるための販売促進活動を強化し、売上拡大に努めてまいります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	18,226	20,821
受取手形及び売掛金	19,217	17,318
有価証券	1,499	1,499
商品及び製品	3,990	4,006
仕掛品	3,161	3,550
原材料及び貯蔵品	2,869	2,658
その他	1,460	950
貸倒引当金	△56	△55
流動資産合計	50,369	50,750
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	9,435	9,254
機械及び装置(純額)	5,280	5,340
土地	2,914	2,910
その他(純額)	2,568	2,917
有形固定資産合計	20,199	20,422
無形固定資産	549	428
投資その他の資産		
投資有価証券	5,951	6,348
退職給付に係る資産	125	115
その他	2,135	1,838
貸倒引当金	△14	△14
投資その他の資産合計	8,197	8,288
固定資産合計	28,946	29,139
資産合計	79,315	79,890

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,654	6,304
1年内返済予定の長期借入金	—	545
未払法人税等	223	732
賞与引当金	1,027	499
役員賞与引当金	110	90
株主優待引当金	80	4
その他	3,781	3,643
流動負債合計	11,877	11,820
固定負債		
長期借入金	6,000	5,455
役員退職慰労引当金	55	55
役員株式給付引当金	40	67
退職給付に係る負債	669	568
その他	865	1,187
固定負債合計	7,631	7,333
負債合計	19,509	19,154
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,585	8,585
資本剰余金	9,728	9,728
利益剰余金	43,897	45,199
自己株式	△5,412	△5,411
株主資本合計	56,797	58,101
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,615	1,927
為替換算調整勘定	653	△135
退職給付に係る調整累計額	△266	△239
その他の包括利益累計額合計	2,003	1,552
非支配株主持分	1,005	1,082
純資産合計	59,806	60,736
負債純資産合計	79,315	79,890

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
売上高	45,413	44,908
売上原価	29,381	29,625
売上総利益	16,031	15,283
販売費及び一般管理費	12,115	11,394
営業利益	3,916	3,888
営業外収益		
受取利息	79	74
受取配当金	120	123
為替差益	—	16
受取保険金	55	90
その他	99	142
営業外収益合計	354	448
営業外費用		
支払利息	13	17
為替差損	79	—
デリバティブ評価損	5	108
支払手数料	65	0
その他	18	26
営業外費用合計	181	152
経常利益	4,088	4,185
特別利益		
投資有価証券売却益	0	9
特別利益合計	0	9
特別損失		
固定資産処分損	33	36
減損損失	39	—
投資有価証券評価損	0	57
特別損失合計	72	93
税金等調整前四半期純利益	4,016	4,101
法人税等	1,149	1,142
四半期純利益	2,866	2,959
非支配株主に帰属する四半期純利益	91	85
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,774	2,873

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	2,866	2,959
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△717	311
為替換算調整勘定	△449	△764
退職給付に係る調整額	79	26
その他の包括利益合計	△1,087	△426
四半期包括利益	1,778	2,533
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,679	2,422
非支配株主に係る四半期包括利益	99	110

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更)

(IFRS第16号「リース」の適用)

第1四半期連結会計期間の期首から、日本基準を採用する当社及び国内子会社、並びに米国基準を適用する米国子会社を除き、IFRS第16号「リース」を適用しております。これにより、借手は原則すべてのリースについて資産及び負債を認識することといたしました。

なお、本基準の適用による当社グループの財政状態及び経営成績に与える影響は軽微であります。

(追加情報)

(取締役及び執行役員に対する株式給付信託(BBT)の導入)

当社は、2018年6月28日開催の第67回定時株主総会決議に基づき、当社の取締役(社外取締役を除きます。)及び執行役員(以下、「取締役等」といいます。)に対する業績連動型株式報酬制度「株式給付信託(BBT)」(以下、「本制度」といいます。)を導入しております。

本制度は、当社が拠出する金銭を原資として当社株式が信託(以下、「本信託」といいます。)を通じて取得され、取締役等に対して、当社が定める役員株式給付規程に従って、当社株式及び当社株式を時価で換算した金額相当の金銭(以下、「当社株式等」といいます。)が本信託を通じて給付される業績連動型株式報酬制度です。なお、当社取締役等が当社株式等の給付を受ける時期は、原則として当社取締役等の退任時となります。

連結貸借対照表に計上した資産管理サービス信託銀行株式会社が保有する当社株式は、前連結会計年度末275百万円(119千株)、当第3四半期連結会計期間末271百万円(117千株)であります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2018年4月1日 至2018年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	軸受機器	構造機器	建築機器	計				
売上高								
外部顧客への売上高	34,416	5,768	4,121	44,307	1,106	45,413	-	45,413
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2	-	39	42	32	74	△74	-
計	34,419	5,768	4,161	44,349	1,138	45,487	△74	45,413
セグメント利益又は損 失(△)	3,474	446	△27	3,892	29	3,922	△6	3,916

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、伝導機器事業等であります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去額であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

構造機器事業セグメントにおいて、構造機器製造設備について減損損失を特別損失に計上しております。なお、減損損失の計上額は当第3四半期連結累計期間においては39百万円です。

II 当第3四半期連結累計期間(自2019年4月1日 至2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	軸受機器	構造機器	建築機器	計				
売上高								
外部顧客への売上高	31,791	7,935	4,188	43,916	992	44,908	-	44,908
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3	-	3	6	28	35	△35	-
計	31,794	7,935	4,192	43,923	1,020	44,944	△35	44,908
セグメント利益又は損 失(△)	2,565	1,218	84	3,868	16	3,884	4	3,888

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、伝導機器事業等であります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去額であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 補足情報

(1) 受注及び販売の状況

当第3四半期連結累計期間(自2019年4月1日 至2019年12月31日)

	期首受注残高		受注高		売上高		期末受注残高	
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)
軸受機器	2,978	23.6	31,674	69.7	31,791	70.8	2,861	21.8
構造機器	8,392	66.6	8,299	18.3	7,935	17.7	8,756	66.9
建築機器	895	7.1	4,456	9.8	4,188	9.3	1,162	8.9
報告セグメント計	12,266	97.3	44,430	97.8	43,916	97.8	12,780	97.6
その他	335	2.7	977	2.2	992	2.2	320	2.4
合計	12,601	100.0	45,407	100.0	44,908	100.0	13,100	100.0

前第3四半期連結累計期間(自2018年4月1日 至2018年12月31日)

	期首受注残高		受注高		売上高		期末受注残高	
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)
軸受機器	3,134	27.5	34,233	70.9	34,416	75.8	2,950	20.7
構造機器	7,124	62.5	8,354	17.3	5,768	12.7	9,709	67.9
建築機器	759	6.7	4,592	9.5	4,121	9.1	1,230	8.6
報告セグメント計	11,018	96.7	47,179	97.7	44,307	97.6	13,891	97.2
その他	371	3.3	1,133	2.3	1,106	2.4	398	2.8
合計	11,390	100.0	48,313	100.0	45,413	100.0	14,289	100.0

前連結会計年度(自2018年4月1日 至2019年3月31日)

	期首受注残高		受注高		売上高		期末受注残高	
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)
軸受機器	3,134	27.5	44,904	71.7	45,060	73.4	2,978	23.6
構造機器	7,124	62.5	10,322	16.5	9,054	14.8	8,392	66.6
建築機器	759	6.7	5,914	9.5	5,778	9.4	895	7.1
報告セグメント計	11,018	96.7	61,141	97.7	59,893	97.6	12,266	97.3
その他	371	3.3	1,431	2.3	1,467	2.4	335	2.7
合計	11,390	100.0	62,572	100.0	61,360	100.0	12,601	100.0

(2) 地域ごとの売上高

前第3四半期連結累計期間(自2018年4月1日 至2018年12月31日)

(単位:百万円)

日本	北米	欧州	アジア	その他	合計
28,647	3,713	2,286	9,703	1,062	45,413

(注) 1. 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

2. アジアのうち、中国向け売上高は5,543百万円です。

当第3四半期連結累計期間(自2019年4月1日 至2019年12月31日)

(単位:百万円)

日本	北米	欧州	アジア	その他	合計
29,219	3,205	2,261	9,106	1,116	44,908

(注) 1. 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

2. アジアのうち、中国向け売上高は5,016百万円です。